

金属業界と同等の早期納入、高精度を実現 高性能炭素繊維強化プラスチック (CFRP)の強みを世に広める

ACM

ACM(エーシーエム、横浜市都筑区川和町、大久保茂社長、045・930・3038)は、CFRPを中心に各種先端技術複合材料の設計、成形などを本業とし、大規模工場の生産ライン等、産業用途のあらゆるニーズに応えている。

CFRPは他の素材に比べ、軽い(鉄の1/5)、強い(鉄の5倍)という特性が際立っており、他にも熱膨張、振動減衰が極めて速い、過電流が極端に小さい等、極めて優れた素材である。これにより従来成し得なかった特性を持った製品を設計・製作することが、可能になるのだ。

一方で、CFRPは、航空・宇宙の分野で多くの実績を積み、その後、スポーツ用具の素材として釣竿やゴルフクラブ等で馴染みとなり、素材そのものの知名度は高くなってきているが、その特性を上手に使いこなしているメーカーはまだ多くない。と言うのも、釣竿ならよくしなり、工業用ロールはしならないというように、繊維方向により相反する性能が発現することを考慮し、

材料設計が必要であることが、CFRP活用の難易度を高めているのだ。これに対して、同社では、あらゆる用途に合ったCFRPの

設計・製作が可能である。

同社の特長は、次の三点である。

- ① 産業用途を中心にお客様と一緒になってCFRPの用途設計を行う。またお客様のニーズを伺い適正な素材設計と価格提案をする。
- ② 設計・製作後、金属部品・プラスチック部品等の組立までを社内で一貫して行う。
- ③ ものづくり体制が整っている日本で数少ないコンポジットメーカーで短納期に強みを持ち、金属部品メーカーと同じ早期納入を実現している。

大久保社長は、「CFRP業界の当たり前にとらわれず『普通』の商売をする。普通とはお客様のものづくりに対して、他の金属部品と同等の早期、同等の精度で納品することである。そして、今後もCFRPという、金属では持ち得ない性能・機能を併せ持つ素晴らしい素材、材料を、社会インフラの一部として世に広めていきたい」と熱く語る。

詳しくはホームページにて
(<http://www.acm-neo.jp>)



女性でも軽々持てるCFRP製のベンチ



耐久性に優れたCFRP製の定盤